



令和7年度 第14号 令和7年11月14日(金)

ご家庭と学校との「協育」そして「共育」をお願いします

9月1日に始まった2学期も半ばを過ぎ、徐々に木々も色づいてすっかり秋の装いとなりました。運動会や各学年の校外学習など2学期に予定していた主な学校行事をほぼ終えた、11月26日(水)～12月5日(金)の午後には二者面談を予定しています。

保護者の皆様には学校行事を中心に日頃より様々な機会に
来校され、子どもたちの様子を見ていただき、大変あ
りがたく思っております。学校生活は、一日の流れでも、登校、始業前の準備、朝の会、授
業、休み時間、給食、清掃、そして帰りの会等々、級友や先輩・後輩と一緒に過ごしながらの様
々な活動があり、その一つ一つを通して子どもたちは日々成長しています。

二者面談では、担任から各々のお子さんの学校での取組や活動の様子を具体的に説明させてい
ただきますが、ご家庭での様子も聞かせていただき、保護者と学校とで幅広くより深い子ども理
解ができればと考えております。ご家庭では見とることの難しい、学校という集団生活だからこ
そ発揮されているよさをお伝えすることができることと思います。また、集団生活を送る上でさ
らに頑張っ欲しいことをお伝えしてご家庭の協力・支援をお願いすることもあると思います。
なお、今回の二者面談でお話したことは、2学期通知表の所見に代えさせていただく意味もあり
ますので、この機会に保護者の方と相互理解を益々図り、連携・協力して育てる「協育」そして共
に育ち合う「共育」をより進めていきたいと思っております。

二者面談は、保護者の皆様方に来校いただきお会いして直接にお話しできる貴重な機会ですの
で、ご多用とは存じますが、よろしくお願いいたします。



6年生から5年生へマーチングの引継ぎが行われました

運動会を終えた10月22日に、
6年生と5年生が会したマーチング
の引継会を体育館で行いました。引
継会では最初に楽曲の演奏を行い、
次に楽器ごとに音色を聞かせたりガ
ードやメジャーの演技を見せたりしま



その際には、それぞれのパートが担う役割、楽曲や
演技を創り上げるうえでの苦労や喜びなどを6年生が5年生へ直接に伝えました。「次は任せま
す」といった思いを6年生が伝え、それを真剣な表情で受け止めていた5年生でした。その様子
はさながら三郷小の伝統・魂が引き継がれているようにも見えました。来年の運動会へ向けて、(現
5年生による)三郷小魂のこもった演奏・演技を今から楽しみにしています。

三郷小の代表として、美しいハーモニーを披露しました

11月12日(水)に、伊勢崎市小中特別支援学校合同音楽会が伊勢崎市文化会館で開催され、本校では4年生が代表して参加しました。

後藤先生の指揮のもと、『いつかこの海をこえて』(伴奏：鶴谷彩乃さん・細井沙恵さん)、『HEIWA の鐘』(伴奏：箱山由芽さん・矢内菜々穂さん)の2曲を合唱しました。練習を始めた頃は歌詞が覚えられなかったり担当パートの音程がとれず二部合唱にならなかったりして苦労しましたが、やがて4年生が一つにまとまり、本番のステージ上では全員が堂々としていました。音楽の授業や休み時間を活用した練習の成果が存分に発揮され、元気で美しい歌声をホール全体に響かせることができました。

(右上の写真は、11月5日に行われた音楽集会での発表の様子です。)



毎日を元気に過ごすために感染症予防に努めましょう

マス・メディア等で報道されておりますように、このところ、インフルエンザが全国的に猛威を振るっています。流行の波は群馬県・伊勢崎市も例外ではなく、本校でも11月に入ってからインフルエンザに罹患した児童やかぜ様症状を発症した児童が急激に増加し、まん延防止の意味からも複数の学級で学級閉鎖の措置を行いました。インフルエンザに罹患すると発熱による全身の倦怠感や関節痛、呼吸器不全等をおこし、大変辛い思いをします。

新型コロナウイルス感染症やマイコプラズマ感染症も一部地域で未だ流行しており、インフルエンザに限らず、感染症全般に罹患しないよう予防する必要があります。

具体的には 『手洗い・うがいの励行』

『部屋の定期的な換気』

『咳エチケット(適切なマスクの着用)』

などを日常的に実践してください。

元気に毎日が過ごせるよう、感染症予防に努めましょう。



これから一気に寒くなる時期、 最近、少し気になることがあります…

11月に入ってから、朝夕は肌寒く感じる日も増え、半袖半ズボンから長袖長ズボンさらには上着を着て登校する児童を見かけるようになりました。このような服装の変化に伴い、朝、児童たちを出迎えるなかで、気になることがあります。

それは、上着やズボンのポケットに手を入れたまま登校する児童がいることです。ポケットに手を入れたままですと、転倒した際、とっさに手で身体を守ることができず大怪我につながる可能性が大きくなります。また、姿勢も背中が丸まりやすく、これから成長期にかかる小学生として健康面での心配もあります。指先が冷えるようでしたら、手袋の着用や持参をお願いします。

いずれも、人数にしてごく僅かな児童ですし、注意するとすぐに直してくれます。つつい癖で…、無意識のうちに…、のこととは思いますが、ご家庭でも気が付かれましたら、安全面や健康面から注意喚起の声かけをお願いします。

